

ならば交流館施設に求められる機能について

1 テーマ

- ・町民同士、町外の人をつなぐ場所（気軽に集まれ活動ができる場所、視察者の受付窓口）
- ・檜葉町、双葉郡を訪れたい人が、先ず立ち寄り、情報を得られる施設。
- ・省エネ、エコ、緑化に配慮、涼環境、季節を感じる施設
- ・バリアフリーでみんなが使いやすい施設

2 施設（現時点での設定。地域住民などとの意見交換、ワークショップによりさらに発展させることを求めます。）

(1) 必要なもの

- ・気軽に声をかけられる窓口・カウンター
- ・みんなが使いやすく居心地の良いロビー・ホール
- ・檜葉の復興の活動・足跡を示す展示スペース
- ・作業、打合せ、収納に十分な広さの事務室
- ・多目的に使える大小の会議室、集会室（会議、イベントなどに使用）
- ・高齢者にも使いやすい和室

(2) 優先するもの

- ・親子が安心して利用できる部屋
- ・イートインスペース
- ・調理室（大きさ、ガス・電化は今後の検討）

(3) 出来ればつくりたいもの

- ・防音を施した多機能な音楽室
- ・緑や季節を感じられるテラス・オーニング

(4) 配慮したいもの

- ・採光により明るい室内
- ・使いやすく、管理しやすい設計
- ・立ち寄り写真を撮りたくなるようなデザイン（檜葉に来た証拠となる施設）

3 設備

- ・雨の日も使いやすい入口
- ・トイレ、誰でもトイレ
- ・各種備品の収納スペース
- ・ポスター、チラシの掲示設備
- ・エレベーター
- ・スロープ（外）
- ・駐車場（障害者、搬入用）、駐輪場
- ・時計、案内灯（屋外）

4 周辺への配慮

- ・可能な限りの防音性（とりわけ東側の住宅地域、南側の診療所に対して）
- ・施設、出入口、窓の配置（とりわけ東側の住宅地域、南側の診療所に対する配慮）
- ・周辺施設計画との一体性・連続性
 - 北側の商業・交流ゾーンとのつながり（人の流れ・一体性）
 - 周辺住宅地に開かれた施設計画
 - あおぞら子ども園や診療機関など、公共施設との関連性
 - 隣接公園との連続性（公園の計画は交流館計画の趣旨を活かして行われる予定なので、基本設計のなかに、公園に対する提案も含まれることが望ましい）
 - 周囲の景観（近景・遠景）との調和 など